



# 南十字星だより



No.1 2013年7月12日  
シンガポール日本人学校チャンギ校  
加藤幸平（平成25年度派遣者）

私が赴任した「シンガポール日本人学校」は、小学部（チャンギ校、クレメンティ校）2校と中学部1校の計3校体制で運営しています。小学部チャンギ校（児童数約800人、教員数65名）の平成25年度学校教育目標は「一人ひとりの無限の可能性を伸ばし、夢抱く、国際感覚豊かな子どもの育成」です。



私は、チャンギ校で「特別支援教育コーディネーター」と「情報主任」を担当しています。今回はそれらを含めたチャンギ校の3つの特徴をご紹介します。

## 1 英語教育の充実

英語教育の目標を明確にし、学習意欲を高めながら、英語力の向上を図る指導を行っています。各国の人々が集まるシンガポールでは、公用語として英語を使います。そこで、本校では教育課程全体を通して英語教育の充実に取り組んでいます。



### （1）国際理解教育

シンガポールの文化を学ぶ資料集を活用した社会科学習の展開や果物を中心に東南アジアの植物を扱う理科教材の工夫などを行っています。また、現地校との交流やホームステイ、学年に応じて国の地理や日星（星は、シンガポールのこと）歴史を学ぶ校外学習も積極的に行っています。

### （2）習熟度別英会話教室

12段階に分けた少人数指導をネイティブ・スピーカーのスタッフがを行い、個に応じて活きる英語力の向上を図っています。詳しい発音や英文法については日本人の教員が担当しています。



### （3）イマージョン（オール・イングリッシュの授業）

音楽と水泳の学習においては、週に一回程度、英語での授業も行っています。英語に親しみながら音楽や水泳の技能を高めることができます。

## 2 特別支援教育の研究



世界の日本人学校の中でも、充実した特別支援教育を展開しています。現在、障がいのある児童は全員が通常学級に籍を置きながら、個に応じた必要な支援が受けられるようにしています。就学指導委員会を経て、特別な教育的ニーズのある児童の受け入れに努めていますが、定員いっぱい状態です。

### (1) 特別支援教育部

シンガポール日本人学校3校の中で、唯一本校に特別支援教育部が設置されています。特別支援教育コーディネーターが中心となり、支援教員が保護者と「個別の指導計画」や「個別の支援計画」を作成し、障がいや成長に応じた支援に努めています。

また、通常学級の担任はユニバーサル・デザインの授業展開を心がけています。

### (2) 特別支援教育研修

全教員が特別支援教育について実践的な研修を行い、日々個に応じたきめ細やかな指導について工夫改善を図っています。また、先進的な特別支援教育のあり方について研究も重ねています。

### (3) 就学指導委員会

シンガポール日本人学校として、就学指導委員会を開催しています。小学部及び中学部への就学について、保護者の意向を踏まえながら面接を実施し、就学の可否について適正に判断する機関として設置しています。

## 3 ICT教育の推進

(1) 学年に応じた情報教育指導計画をもとに、児童のPC活用能力及び情報モラルの向上を目指して担任が指導に当たっています。また、各教科の学習に情報機器を使用し、学習効果を高めるよう工夫しています。

(2) 学校HPの運営更新に努め、学校教育の様子をタイムリーに発信しています。特に、各学年の日々の学習の様子を積極的にブログスタイルで掲載しています。

シンガポールは、東南アジアの有数の観光地として、白壁のラッフルズホテルや屋上プールで有名なマリーナベイサンズ、夜間動物園のナイトサファリなどがあります。小さい国なので、滞在時間が少なくても、電車やバスで安く効率よく回ることができます。また、南国フルーツやラクサ（魚介スープとココナッツミルクのラーメン）、英国スタイルのハイティー（紅茶とバイキング料理）なども楽しみめ快適です。（先週は、ヘイズで一日休校になりましたが…。）



皆さん、南十字星を望み、多民族共生の中で夢を抱くシンガポール日本人学校チャンギ校へご来校ください。